

令和2年度使用  
岡山市立小学校教科用図書  
選定資料

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語） 種目（国語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 図表やグラフと文章を関連付けて考えることができにくく、筆者の主張を読み取ってまとめていくことに課題がある。
- ② 伝える相手や目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら書くことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の学習で重点的に身に付ける力が、「相手や目的を考えて手紙を書く」「理由や事例を挙げて書く」等の「言葉の力」として示され、学年を通して力が積み上がっていくように工夫されている。</li> <li>○ 単元で身に付けた力を使って他教科等や実生活のどの場面で生かすことができるのかが「生かそう」で具体的に示されている。</li> <li>○ 教科書の巻頭にその学年で身に付ける言葉の力が分かりやすく強調されており、その力を年間及び6学年を通して系統的に段階を追って学んでいくことができるような配列の工夫がされている。</li> </ul>	<p>4年上 P. 74, 142 4年下 P. 54, 128</p> <p>5年 P. 111 6年 P. 56</p> <p>6年 P. 6～9 6年 P. 34</p>
11 学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年以上に、情報を論理的にとらえる教材やイメージとしてとらえる教材を配置し、情報の関係性を見出し、言葉に関わる力を育成できるよう工夫されている。</li> <li>○ 新聞記事の構成や読み比べ、関連情報の入手等の資料を基に、情報を主体的に捉え、何が重要かを考えることができるようになっている。</li> <li>○ 全学年上下巻になっており、内容も精選されているため持ち運びやすくなっている。</li> </ul>	<p>3年上 P. 62, 63 3年下 P. 6～9</p> <p>5年 P. 111 6年 P. 56</p> <p>各学年</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報を集め整理する力や関連付ける力、効果的に伝える力等、学年に応じて情報活用能力の育成が図られている。</li> <li>○ 「短歌」や「百人一首」、「漢文」等が幅広く取り上げられ、伝統や文化に幅広く触れることができるようになっている。</li> <li>○ 各学年で学ぶ内容や身に付けるべき力が見開きに分かりやすく整理され、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>2年下 P. 18, 19 6年上 P. 18, 19</p> <p>4年下 P. 154 5年上 P. 66</p> <p>2～6年上 P. 4, 5</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たいせつ」では、学習を通して身に付ける力や理解するためのポイントが示されている。また、「読むこと」「書くこと」の複合単元を配置し、効果的に国語の力が付くように設定されている。</li> <li>○ 算数科のグラフや社会科の統計資料等の話題・題材の関連や、観察記録文、調査報告文等の学習活動面の関連が図られている。</li> <li>○ 巻末資料に選択的な課題を設けたり並行読書の扱いができたりする等、実態に応じて補充的・発展的に扱える配慮がされている。</li> </ul>	<p>2年下 P. 39～49 4年上 P. 28 P. 128～131</p> <p>5年 P. 148～153 4年上 P. 120～123</p> <p>4年上 P. 140 5年 P. 270</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（国語） 種目（書写）

【岡山市の子どもの課題】

- ① きまりを見つけたり、考えたことを説明したり、話し合ったりする書写の学び方が定着していないことに課題がある。
- ② 日常生活において学習したことを使おうとする意識が低いことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 束 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の最初に学習した基本点画が復習できるようになっていることで、繰り返し基本点画を確認できるよう工夫されている。</li> <li>○ 社会科の新聞作りや手紙の書き方等において、学習した知識や技能を生かし、実生活に活用できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「書写のかぎ」として、学習のポイントが示され、今までに学習したことを意識できるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>4年 P. 8, 9 6年 P. 8, 9</p> <p>2年 P. 38, 39 4年 P. 24, 25</p> <p>3年以上 ページ左端</p>
11 学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「書き方のカギ」（見方、考え方）やQRコードを活用することで、学習のポイントが捉えやすくなっている。</li> <li>○ 全ての学年で学習の進め方が「①たしかめて書こう」「②考えて書こう」「③生かして書こう」となっており、思考力や表現力を確実に育むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 書き込み欄が豊富に設けられ、教科書に直接書き込むことで、学習を進められるような構成になっている。</li> </ul>	<p>4年 P. 17 6年 P. 26</p> <p>4年 P. 16, 17 5年 P. 32, 33</p> <p>1年 P. 36, 37 5年 P. 8, 9</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字を比べて話し合う場面が写真や吹き出し等で詳しく掲載されており、児童が考えを伝え合う時のヒントになるように工夫されている。</li> <li>○ 「レッツ・トライ」として、学習したことを他教科の授業でどのように生かせばよいか分かりやすく掲載されている。</li> <li>○ 児童が自分の課題に応じて学習のまとめに取り組むことができるように、これまでの学習内容とめあてが一目で分かるようになっている。</li> </ul>	<p>2年 P. 19 6年 P. 33</p> <p>4年 P. 26, 27 5年 P. 19～21</p> <p>4年 P. 44 5年 P. 40</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてや話し合う視点が明確に示されているため、児童自らが考えながら学習に参加できるように工夫されている。</li> <li>○ 第6学年には、各学年で既習した内容をまとめた書写ブックが添付されており、家庭で自主的な学習に取り組む際や、他教科での学習に活用できるようになっている。</li> <li>○ 文字が大きく明確に示され、文字のバランスや半紙内での配置が捉えやすくなっている。</li> </ul>	<p>3年 P. 24 5年 P. 28, 29</p> <p>6年 P. 19～26</p> <p>1年 P. 10, 11 5年 P. 6, 7</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習過程が「考える」「確かめる」「いかす」の3段階で示され、流れに沿って学習することで、基礎基本の定着につながるようになっている。</li> <li>○ 各学年に「国語の広場」「生活と書写」のコーナーが設けられていることで、他教科や日常生活の中での書く場面に活用できるようになっている。</li> <li>○ 学習のポイントをキャラクターが吹き出しで分かりやすく示し、児童の学習意欲を喚起する助けとなっている。</li> </ul>	<p>4年 P. 18 5年 P. 8</p> <p>3年 P. 42～46 6年 P. 36～43</p> <p>4年 P. 26 5年 P. 21</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会） 種目（社会）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 問題解決的な学習の方法等、社会科の学び方が、系統的に身に付いていないという課題がある。  
 ② 社会科の学習と実際の社会を結び付けて、社会参画の意識をもつことに課題がある。  
 ③ 資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報の関連付けや活用をしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の学び方の基礎基本となる、問題解決的な学習を進めていくことができるように、「つかむ」「調べる」「まとめる」過程が分かりやすく示されている。</li> <li>○ 各時間に、その時間に働かせる「見方・考え方」を明示することで、思考力、判断力、表現力を育てられるようになっている。また、「まとめる」場面では、「宣伝シール」「4コマまんが」等、発達段階に応じた多様な活動が提示されている。</li> <li>○ 学習の導入では、児童の学習意欲を喚起できるように写真資料等の掲載が工夫されているとともに、単元の学習後に扱う補充・発展的な学習内容が「ひろげる」のコーナーで紹介され、柔軟に扱えるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>5年上 P. 24, 25</p> <p>3年 P. 29 3年 P. 50, 51 6年歴史編 P. 54</p> <p>5年上 P. 76, 77 4年 P. 52～55</p>
17 教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学びのてびき」では、学習内容に応じた学び方や調べ方、まとめ方が具体的に示されており、基礎基本の確実な定着につながるようになっている。</li> <li>○ 「見方・考え方」の具体が子どものイラストの吹き出しに示され、思考・判断・表現力の育成につながる工夫がなされている。</li> <li>○ 「人口減少の課題」や「持続可能な社会」について考える内容を各学年で取り上げることで、今後の社会の在り方や社会参画について考え続けていくことができるようになっている。</li> </ul>	<p>4年 P. 15 5年 P. 110</p> <p>6年 P. 3</p> <p>3年 P. 157 5年 P. 236, 237</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文を「学習活動」「子どもの発言」「学習内容」の三つの要素に分けることで、文章を正確に読み取れるように工夫されるとともに、資料の読み取りなどをサポートする「学び方・調べ方コーナー」が設けられている。</li> <li>○ 「問い」の欄と「見方・考え方」のコーナーを設け、その時間に働かせる見方・考え方を示すことで、社会的事象の意味や特色を捉えることができるように工夫されている。</li> <li>○ 第4学年では、岡山県の全体の様子を調べたり、備前市伊部、真庭市、総社市、岡山市の会陽等の岡山県内の各地域の事例が取り上げられたりする等、郷土について充実した学習ができるようになっている。</li> </ul>	<p>3年 P. 143 6年 P. 102, 103</p> <p>4年 P. 174, 175 5年 P. 86, 87</p> <p>4年 P. 8～19 4年 P. 160～191</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（社会） 種目（地図）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 地図記号の意味は理解できているが、地図から位置や地形、広がりや分布等の情報を読み取ることに課題がある。
- ② 地理的環境の特色や産業の現状等を白地図にまとめていくことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	○ ページいっぱいの鳥瞰図を掲載し、地図への興味関心を高める構成がされていたり、地図記号や産業の記号、方位や縮尺などが見開きに一目で分かる配置となっていたりと、地図帳の基礎基本の定着が図られるような工夫がなされている。	P. 7～14
	○ 日本の歴史年表と併せて同じ時代の世界の様子が捉えられる世界地図が掲載されており、世界の国々との関わりについて、歴史学習と地図とを関連付けて考えることができるよう工夫されている。	P. 75～78
	○ 「くらべてみよう日本と世界」では山や川、建築物等の規模を比べることで他国のスケールの大きさを実感し、他国の理解を深めることができるようになっている。	P. 81, 82
46 帝 国	○ 「日本の自然災害と防災」では、地震や火山、水害等様々な自然災害に関する内容や実際の防災の取組及びハザードマップ作りの手順が紹介され、ハザードマップ作成を通して思考力・判断力・表現力を養うことができるようになっている。	P. 91～94
	○ 「日本の領土とそのまわり」では、「日本固有の領土」として北方領土・竹島・尖閣諸島の明記がされている。また日本周辺の国々と東京からの距離が提示されていることで、身近な国であることが実感できるようになっている。	P. 29, 30
	○ 「地図マスターへの道」における3段階のレベルが設定された31カ所80問の問いや「まとめのぬりつぶし」のコーナーがあることで、児童が意欲をもって地図帳を活用することができるよう工夫されている。	全体 P. 66

岡山市教科用図書選定資料 教科（算数） 種目（算数）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 数量や図形の問題を解決する時に、興味や関心をもって粘り強く取り組むことに課題がある。  
 ② 既習事項を基に図やグラフ等を使って考えたり、説明したりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真やイラストを効果的に配置し、見やすい紙面となっているとともに、分かりやすく丁寧な問題解決の学習展開を通して、基礎的・基本的な概念や性質、技能を確実に身に付けることができるように工夫されている。</li> <li>○ 「学びのとびら」や「今日の深い学び」を設け、授業の展開とノート書き方が相互に関連付けられており、考えたことを表現する力を育むことができるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 「いかしてみよう」を設定し、単元で学習した内容を実際の生活場面で活用して、さらに学習が深められるように工夫されている。</li> </ul>	<p>3年下 P. 36 5年上 P. 64</p> <p>3年上 P. 15～19 5年上 P. 2～5 6年 P. 111～115</p> <p>2年下 P. 63 4年上 P. 32</p>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「じっくり深く学び合おう！」では、めあてを示し、解決方法を次のページに配置することで、自分の考えを図や式、言葉で表現する言語活動が十分に行えるように工夫されている。</li> <li>○ 「なるほど算数教室」の中で、和算を紹介したり他国の算数の歴史を語るページを盛り込んだりすることで、我が国の伝統文化を尊重し、国際理解を深めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 学年1冊の合本とし、「前の学習」や「あとの学習」を示すことで、学習のつながりを意識することができるように工夫されている。</li> </ul>	<p>3年 P. 131～133 5年 P. 19～23</p> <p>5年 P. 199 6年 P. 216</p> <p>6年 巻頭～P. 1</p>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ノート名人になろう」では、ノートのまとめ方が丁寧に示されており、自分の考えや友だちの考え等を整理して書くことで表現する力を育成できるように工夫されている。</li> <li>○ 保健体育の安全教育や社会科の統計資料等、他教科との関連を図ることで、算数の有用性が理解できるように工夫されている。</li> <li>○ 各単元の「導入」部分では、生活場面の身近な題材をストーリーのあるイラストを用いて扱うことで、学習していく内容を児童が理解し、見通しがもてる構成になっている。</li> </ul>	<p>3年下 P. 32, 33 5年下 P. 94, 95</p> <p>4年上 P. 140, 141 5年上 P. 54</p> <p>2年上 P. 71 4年下 P. 60</p>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ つまづきやすい学習内容は、脚注コラム「よくあるまちがい」「算数ミニクイズ」等で誤答例等を示したり、クイズ形式で示したりして意識化が図られている。</li> <li>○ 技能的な手順を巻末「学びの手引き」にまとめ、指導学年以外でも繰り返し参照できるように配慮されている。</li> <li>○ 単元の導入のきっかけページでは児童が能動的に関わることのできる教材を用意し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように構成されている。</li> </ul>	<p>3年下 P. 40 5年 P. 27</p> <p>4年上 P. 166, 167</p> <p>6年 P. 34, 160</p>

啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年以上の巻頭には、「学習の進め方」「わくわく算数学習」「わくわく算数ノート」が示され、考える力を育成できるように配慮されている。</li> <li>○ キャラクターを使って学習活動の支援をすることで児童の学習意欲を喚起するよう工夫されている。また、「もっと練習」のページを示すなど、自主的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 目次は単語で構成されており見やすくなるように配慮されている。また、紙面にたくさんのQRコードを掲載し、ICT機器を使った学習サポートができるようになっている。</li> </ul>	<p>2年上 P. 4～9 5年 P. 4～9</p> <p>2年上 P. 25 3年上 P. 41</p> <p>3年上巻頭～P. 1 6年 P. 15</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末に学習内容の定着を図る「たしかめポイント」を配置したり、巻末に学び方の定着を図る「学び方ガイド」を配置したりし、基礎基本の定着につながるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年に「自分で みんなで」が設けられ、問題解決型学習の手順や具体的な着眼点が示され、既習事項を活用した話合いができるように配慮されている。</li> <li>○ 「ハロー！算数」「Hello！Math」では身の回りから題材を選び、実生活に活用するよさを感じられるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>6年 P. 40. 41 2年以上巻末</p> <p>1年下 P. 77～79 3年上 P. 75～77</p> <p>2年上 P. 12 4年上 P. 55～57</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（理科） 種目（理科）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 日常生活の現象について、学習したことを基に科学的に考え、表現することに課題がある。  
 ② 観察や実験の計画を立てたり、その結果から考察したりすることや実験器具の基本的な操作に課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	○ 問題解決の各過程のタイトルの大きさを大きく示したり、「学びのライン」でつないだりすることで問題解決の過程を視覚化した工夫がなされている。A4判で、写真や文字が大きく適度な余白を設けており、児童にとって見やすく使いやすくなっている。	4年 P. 169～172 5年 P. 174～177
	○ 理科の見方・考え方を働かせることができるよう、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えることについて、「理科のミカタ」「学んだことを使おう」の中で具体的に示されている。	3年 P. 14 5年 P. 31
	○ 学んだことを生かして日常生活の事象等について深く考え説明する活動が設定されたり、児童が学習の定着を自己評価し振り返りながら家庭学習に取り組むことができるように工夫されたりしている。	4年 P. 126 5年 P. 63
4 大 日 本	○ キャラクターの吹き出しには、学年に応じた予想の仕方や観察実験の計画の仕方、考察の仕方等について具体的な視点が示されており、児童が対話しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	5年 P. 128～130 6年 P. 108～110
	○ 「サイエンスワールド」「りかのたまてばこ」では、身近な自然の事物・現象について考える中で、ESDや環境保護の視点をもったり、日本の伝統文化の中にも科学の考え方が用いられていたことを知ったりすることができるよう工夫されている。	5年 P. 102, 125
	○ 問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の三つにまとめ、各ページの上部に示すことで、問題解決の過程を意識しながら学習を進めることができるよう工夫されている。	3年 P. 47, 48 6年 P. 166～170
11 学 図	○ 単元の始めに「調べていこう!!」としてその単元で付けたい資質・能力を三つ示すとともに、単元末の「できるようになった」において学習した内容を振り返ることで、理科の学び方が身に付くよう工夫されている。	3年 P. 25, 39 4年 P. 41, 55
	○ イメージ図やモデル図、フローチャート等を使い、違う視点で考えたり表現したりすることで、より考えを深めることができる場面が設定されている。	6年 P. 16, 169
	○ 単元の最初のページに索引を表示しており、1年間の学びをつなぐことができるよう配慮されている。	3年 P. 92 5年 P. 94
17 教 出	○ 「問題」「観察・実験」「結論」という問題解決の過程を重視し、基礎的基本的な内容の習得が図られている。また、単元の終わりに「確かめ」があり、基礎的な内容の定着を図ることができるよう工夫されている。	3年 P. 15～19 3年 P. 37
	○ 「学習の進め方」と「ノートのとおり方」の例を対応させて示すことで、児童が思考を整理したり、問題解決の過程を意識したりしながら学習を展開できるよう工夫されている。	4年 P. 8, 9 6年 P. 8, 9
	○ 単元の導入では、身の回りの事例や「音楽で学んだこと」のように、他教科で学んだことを紹介することで、児童の気付きを促し、興味関心をもって学習を展開できるように工夫されている。	3年 P. 133 5年 P. 24



26 信 教	<p>○ 単元の導入に「思い出そう」が配置されており、既有的知識を活用し考えることができるようになっている。</p> <p>○ 「はってん」では、学習内容を中学校での学習につなげられるよう明記されており、「やってみよう自由研究」では、さらに探究的活動ができるようにその方法が分かりやすくまとめられ、家庭での自主的な学習が行えるよう工夫されている。</p> <p>○ 「まとめよう」では、手書き調のフォントやイラストを使用し、児童に親しみやすいよう工夫されている。</p>	<p>3年 P. 98, 109 4年 P. 72, 84</p> <p>4年 P. 68～71 6年 P. 114</p> <p>5年 P. 60 6年 P. 135</p>
61 啓 林 館	<p>○ 「フムロウ博士の資料室」では、ノートのとめ方や話合いの仕方、実験器具の使い方等が具体的に示されており、基礎基本の定着につながるよう工夫されている。</p> <p>○ 観察や実験で分かったことや考えたことを分かりやすく伝えることができるように、「話し合いのしかた」や「話し合いの進め方の例」が示されている。</p> <p>○ 「つなげよう」「理科の広場」では、学習したことが生活のどのような場面で活用されているのかについて紹介されており、児童が学習の有用性を感じられるとともに、児童が関心を高め、自発的に学習を発展させることができるよう工夫されている。</p>	<p>3年 P. 165 5年 P. 173</p> <p>5年 P. 179 6年 P. 204, 205</p> <p>4年 P. 85 5年 P. 28, 29 6年 P. 22, 23</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（生活） 種目（生活）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 主体的に活動や学びを進めるための疑問や気付きを見付けることに課題がある。
- ② 自分自身や自分の生活について考えたことを相手意識や目的意識に基づいて表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 束書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞、折りたたみ絵本、パンフレット、ポスター、発表会等まとめ方の表現方法が実物写真とともに示され、得られた情報を整理したり、発信したりする際の参考となるよう配慮されている。</li> <li>○ 町たんけんが繰り返し登場し、対象を多様なものから施設、人へと変えていったり、調べたことを他者へ伝える活動を取り入れたりすることで、気付きの質が高まるように工夫されている。</li> <li>○ 「きれいにさいてね」では、変形判ページが使われ、楽しく植物の成長順序を捉えることができるようになっていたり、「かんさつずかん」では観察の視点が吹き出しで示されたりしており、効果的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>下 P. 126～128</p> <p>下 P. 23, 59 下 P. 71, 81</p> <p>上 P. 28～33 上 P. 34, 35</p>
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙面右端「せいかつことば」の欄には、活動に関連して気付きがより深まったり広まったりするような情報や、観察カードを書く際に表現の助けになったり語彙力が向上したりするような言葉が紹介されている。</li> <li>○ 探検カメラを掲載し、児童が見付ける楽しさを実感できるように工夫されている。また、巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、草花遊び、自然事象の変化等が幅広く紹介され、児童の関心を深め、発展的な学習につながるよう配慮されている。</li> <li>○ 立体感のある表紙や透明シートを使用した仕掛けのあるページ、モノクロページ等が設けられ、期待感をもって学習を進められるように構成されている。</li> </ul>	<p>上 P. 23, 87</p> <p>上 P. 8 上 P. 108, 109 下 P. 122, 123</p> <p>上 P. 62, 63 下 P. 113</p>
11 学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の「生活科学び方図かん」では、「話す・聞く・書く・発表する」等の表現の仕方が示され、児童が自ら考えたり、表現したりしやすいように工夫されている。</li> <li>○ 繰り返し登場する児童のキャラクターの対話やつぶやきが多く記載されており、児童の学習意欲が喚起されるよう工夫されている。また、「ものしりノート」を資料として使うことで発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 目次が季節と関連付けられており、児童が見通しをもったり単元のつながりを意識したりしながら学習に取り組むことができるように工夫されている。</li> </ul>	<p>下 P. 104～119</p> <p>上 P. 8, 9 下 P. 42, 43</p> <p>上下 目次</p>
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報の整理や分析、分類等、思考を可視化するための方法が取り上げられており、問題を発見・解決したり考えを形成したりできるようになっている。</li> <li>○ 児童と共に学習するキャラクター「いぐら」を登場させ、「もしも」のページ等で驚きや喜びを共有することで学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元末に設定された「まんぞくハシゴ」で、児童自身が達成感を味わったり、振り返りを習慣化したりできるように工夫されている。</li> </ul>	<p>下 P. 121</p> <p>上 P. 45 下 P. 33</p> <p>上 P. 91 下 P. 111</p>

26 信 教	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まきものやお願いの手紙等、その時に必要な表現方法が示されている。また、童謡や詩等が多く掲載され、多様な表現方法に触れることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 大豆の畑づくりから収穫までの流れが詳しく記載されており、「いっぱいみのったね」では、大豆から作られるものを調べることで、発展的な学習につなげられるよう工夫されている。</li> <li>○ 折り込みが随所に配置され、開くと大判でイラストが示されるようになっているため、学習対象を自分との関わりで捉えやすくなっている。</li> </ul>	<p>上 P. 122, 123 下 P. 57</p> <p>下 P. 34~45 下 P. 58~65</p> <p>上 P. 26~31 下 P. 82~87</p>
38 光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どうすれば」が活動のヒントとして示され、子どもたちが自ら考え、判断できるような問いかけが提示されている。</li> <li>○ 学んだことを基に、実生活でやってみたいことをシールに書き、教科書に直接貼ることができるようになっており、実生活の場面につなげることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「みんなのここにこ大きくせん」の単元では、家庭生活の様々な場面が示されたり、「ぐんぐんそだて おいしいやさい」の単元では、秋から育てる野菜が種類豊富に示されたりしており、児童の意欲が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>上 P. 128 下 P. 9</p> <p>上 P. 27, 43, 145</p> <p>上 P. 90, 91 下 P. 34, 35</p>
61 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容に関わる言葉の投げかけや写真を示し、児童の思いや願いを高めるとともに、紙面右端に学習のつながりが分かる言葉を示し、活動で生まれた気付きや思いを次の活動につなげていくことができるように工夫されている。</li> <li>○ 「くらべる」「ためす」「くふうする」等の多様な学習活動例が示され、気付きの質が高まる学習活動になるように工夫されている。</li> <li>○ 児童が見通しをもって学習に取り組めるように「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、左ページに学習していることがどの段階か示されている。</li> </ul>	<p>上 P. 60, 61 下 P. 13</p> <p>上 P. 82, 83 下 P. 64, 65</p> <p>下 P. 4, 6, 16</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業風景や教室のイラストや写真に、カードや巻物、紙芝居等、多様な表現方法が示されており、まとめ方を自分で選択して表現できるようになっている。</li> <li>○ 地域の人との交流や家庭での会話場面等が示され、「ひと・もの・こと」と直接的に関わり、実感を伴う気付きや実生活につながる力を育めるよう、自分の日常や家庭、地域等と、生活科での学びをつなげる例示が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 「町たんけん」では、身近な「町のすてきな人」と出会って、町にはみんなが安心して生活できる工夫があることを知ったり、自分の町がもっと好きになったりする等、地域のよさに気付き、親しみや愛着がもてるようになっている。</li> </ul>	<p>上 P. 30, 31, 48 下 P. 105~107</p> <p>上 P. 43, 73 下 P. 31</p> <p>下 P. 78, 79</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（音楽） 種目（音楽）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 音楽を聴いて、覚えて歌うことはできるが、曲や演奏のよさに触れ、よりよい表現を目指して主体的に考えて表現したい思いや意図をもつことや友達と考えを交流することに課題がある。
- ② 音楽に関する用語や記号などの名称やその意味が定着しておらず、音楽表現に生かすことができにくいことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
17 教 出	○ 音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」として見開きごとに示したり、巻末に「音楽のもと」のまとめを示したりしており、児童が音楽的な見方・考え方を働かせる上で、参考にすることができるように工夫されている。	2年 P. 72 5年 P. 13
	○ 世界の音楽が複数掲載されており、リズムや歌、楽器等様々な視点で、日本や他国の音楽の特徴を感じ取り、それぞれのよさやおもしろさに気付くことができるようになっている。	4年 P. 38～47 5年 P. 34～41
	○ 「音のスケッチ」や「スキルアップ」のコーナーが繰り返し出てきて、発展的・補充的な内容に取り組むことができるように構成されている。	4年 P. 6～11 6年 P. 19, 34, 35
27 教 芸	○ 第3学年のリコーダーの学習では、音の出し方をイメージしやすいイラストや言葉で分かりやすく解説されている。またQRコードを読み取ると、曲や学習のポイントを動画で確認することができるようになっている。	3年 P. 22 5年 P. 17
	○ キャラクターの吹き出しの中に課題意識をもつことができるような問いかけや児童が思いや考えをもち学習のねらいの達成に向かうことができる内容が示され、意見交換できるようになっている。	2年 P. 10, 11 5年 P. 19
	○ 「歌いごう日本の歌」として童謡や唱歌が全学年を通して取り上げられており、縦書きの歌詞を掲載することによって、日本語のもつ響きの美しさを感じることができるように示されている。	1年 P. 74, 75 4年 P. 68

岡山市教科用図書選定資料 教科（図画工作） 種目（図画工作）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 表したい、つくりたいと思うことをどのように表現するか考えたり、試行錯誤しながらよりよいものにしていこうとしたりすることに課題がある。
- ② 材料や用具の扱いに関する経験が不足しており、自信をもって表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
9 開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のめあてが、育成する資質・能力に合わせて三つ提示されており、どのめあてに重点的に取り組めばよいか分かりやすく示されている。また、題材で使用する材料や表現の方法、発想の視点が示され、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習したことが実生活でも生かされることが実感できるように、実生活で使える題材が各学年に多く配置されている。</li> <li>○ 題材の扱い方や作品の見方を各学年の発達段階に応じて取り上げており、系統的な指導ができる構成となっている。</li> </ul>	<p>1・2年上 P. 8 5・6年上 P. 16</p> <p>5・6年下 P. 26, 28 3・4年下 P. 30, 31</p> <p>1・2年下 P. 22 3・4年下 P. 10</p>
116 日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はさみや絵の具の使い方等技法が分かる写真やイラストが多く、安全指導や片付けの方法が各題材に配置されている。</li> <li>○ 「図画工作のつながりひろがり」では、図画工作科の見方や考え方を作品づくりに生かしている人が紹介され、児童が学んだことを実生活に活用するきっかけとなるようにしている。</li> <li>○ 我が国の伝統技法や作品を「ざいりょう」と結び付けて紹介したり、鑑賞の視点を示したりすることで、日本の美術のよさや美しさを味わうことができるよう配慮されている。</li> </ul>	<p>1・2年上 P. 64 3・4年上 P. 58, 59</p> <p>5・6年上 P. 36, 37 5・6年下 P. 52, 53</p> <p>3・4年下 P. 56, 57 5・6年下 P. 38, 39</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（家庭） 種目（家庭）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 家庭科で学習したことを、家庭や地域等の様々な場面で実践しようとする態度に課題がある。  
 ② 日常生活の中から問題を見出し解決すべき課題を設定する力や、課題を解決するために様々な解決方法を考え計画する力に課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	○ 5か所に「生活を変えるチャンス！」のコーナーが設けられ、課題例や実践事例が豊富に掲載されるとともに、実践の進め方が丁寧に紹介されており、学んだことを実生活でどのように生かせばよいのかイメージがもちやすくなっている。	P. 31, 95, 115
	○ 日本の伝統文化が衣、食、住、家族・家庭、消費・環境生活の視点から取り上げられ、「日本の伝統」のマークをつけて分かりやすく示されており、日本の伝統的な文化を学ぶことができるようになっている。	P. 12, 57, 89
	○ 全て生活との関連が分かる单元名になっており、学習と生活とのつながりが意識しやすくなっている。	目次
9 開 隆 堂	○ QRコードが多く掲載されており、それを読み取るとその場で必要な調理の様子やミシンの使い方、実験動画、学習内容を補完する資料等が確認でき、基礎基本の定着を図りやすくなっている。	P. 51, 63, 69
	○ 各題材の終わりに「生活に生かそう」のコーナーが設けられており、学習で身に付いた知識や技能等を生活に生かせるよう具体例が示されている。	P. 33, 47, 123
	○ 「レッツトライ 生活の課題と実践」のページが設けられており、課題解決に向かうためのステップと取組の例が詳しく掲載され、家庭での実践につなげやすい工夫がされている。	P. 76～79

岡山市教科用図書選定資料 教科（体育） 種目（保健）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 身近な生活における健康・安全に対する意識が低く、児童自らが学習課題を見付けることに課題がある。
- ② 自己の健康に関する課題について、考え判断したことを言葉や文章等で表現することに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的な知識について、各時間の最後に「まとめる・生かす」があり、直接記入して確実に定着できるようになっている。</li> <li>○ 全単元が児童の気付きを基にした、課題解決学習の進め方で統一されており、児童の考えたり表現したりする力の継続的な育成が図られている。</li> <li>○ 課題発見に取り組めるように、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」、「まとめる・生かす」という構成になっている。また、写真が大きく余白が適切に設定され見やすくなっている。</li> </ul>	<p>3・4年 P. 10, 14 5・6年 P. 8, 12</p> <p>3・4年 P. 2 5・6年 P. 2</p> <p>3・4年 P. 25～30 5・6年 P. 25～28</p>
4 大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の終わりにまとめのページがあるとともに書き込む欄があり、学んだことを振り返り学習内容の定着につながるようになっている。</li> <li>○ 各単元の初めに、「わたしたちはどこかな？」という人探しゲームのページがあり、各単元の学習内容に関連する人物を探す活動を通して、学習内容への興味関心を喚起する工夫がされている。</li> <li>○ 学習内容を精選し、1時間分が見開きに収められており、誰にでも見やすく、使いやすくなっている。</li> </ul>	<p>3・4年 P. 20, 36 5・6年 P. 16, 56</p> <p>3・4年 P. 7 5・6年 P. 7</p> <p>3・4年 P. 24, 25 5・6年 P. 20, 21</p>
207 文 教 社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容における大事なポイントは黄色の背景色が付けられていたり、重要語句は太字になっていたりすることで、基礎基本が定着するよう工夫されている。</li> <li>○ 「新しい自分にレベルアップ」では、身に付けた知識をもとに自分の課題を考えたり、単元末の「〇〇せん言」では、授業での学びをどのように生活へ生かしていくかを考えたりできるようになっており、実生活の場面への活用が図られている。</li> <li>○ 「もっとくわしく」「発展」を設け、補充的な学習や発展的な学習を促す工夫がなされている。</li> </ul>	<p>3・4年 P. 5, 8 5・6年 P. 4, 7</p> <p>3・4年 P. 16 5・6年 P. 5, 17</p> <p>3・4年 P. 13, 31 5・6年 P. 10, 12</p>
208 光 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まわりの人の意見を聞く活動や実生活と関わりのある課題について考えたり、書いたりする活動を取り入れる等、言語活動の充実が図られている。</li> <li>○ 歩きスマホの危険性やスマートフォンやタブレットの使用の仕方について取り上げており、安全で健康な生活と関連付けて考えることができるようになっている。</li> <li>○ 「さらに広げよう 深めよう」ページを設け、学習内容のまとめりごとに、豊富な資料を掲載し、児童が自分の興味・関心に応じて、学習できるように配慮している。</li> </ul>	<p>3・4年 P. 10 5・6年 P. 23, 51</p> <p>3・4年 P. 15 5・6年 P. 29, 53</p> <p>3・4年 P. 14, 20 5・6年 P. 14, 19</p>

224 学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つかむ」「考える・調べる」「まとめ・深める」というキーワードで課題解決的な学習に取り組みやすくなっていたり、「かがくの目」で科学的な見方が示されたりしており、児童の考え、判断し、表現する力の育成が図られている。</li> <li>○ 家庭や地域で取り組みたい活動を「おうちで」「ちいきで」というマークで示し、家庭での取組を促すように工夫されている。</li> <li>○ 学習内容が見開きで構成され、児童が学習の見通しをもちやすくなっている。また、欄外に学習内容に関する情報が掲載され、児童の興味関心を高めるようになっている。</li> </ul>	<p>3・4年 P. 16, 20 5・6年 P. 35, 42</p> <p>3・4年 P. 9, 11 5・6年 P. 13, 25</p> <p>3・4年 P. 14, 15 5・6年 P. 43</p>
---------------	--	---



岡山市教科用図書選定資料 教科（外国語） 種目（英語）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 十分に練習した定型表現なら発話できるが、テーマに基づいて話すことに課題がある。  
 ② 聞きとりは概ねできているが、多くの情報を聞き、概要等をつかむことに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 束書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Enjoy Communication」では、自分のことを話すべき部分には色や絵がついており、児童が会話の内容を推測しやすいよう工夫されている。また第6学年では、主語・動詞が色分けされており、文の構造を捉えやすくなっている。</li> <li>○ 「Picture Dictionary」が別冊になっており、様々な単語や表現が内容や使用場面等で整理されているため、表現活動や家庭での自主的な学習の際に活用できるようになっている。</li> <li>○ 各単元の「Enjoy Communication」では、カード等の具体物を使うことで表現活動を楽しむことができ、また作成したものを学習の記録として、教科書に貼ることができるようになっている。</li> </ul>	5年 P. 14 6年 P. 10  別冊  5年 P. 30, 31 巻末 6年 P. 54, 55 巻末
9 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チャンツやリスニング等、短時間の活動が多く設定されており、テンポの良い学習活動が展開でき、児童が英語に繰り返しふれることで、基礎基本の定着を図るよう工夫されている。</li> <li>○ 各単元末の「Let's Try」や年間2回の「Project」等を設け、児童にとって身近な場面の中で、身に付けてきた知識や技能を実際に活用できるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に「CAN-DO マップ」、各単元末に「ふりかえりをしよう」のコーナーが設けられており、学習の見通しを立て、活動後に振り返りを行うことで、効果的に学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	5年 P. 20, 21 6年 P. 42, 43  5年 P. 25, 33~37 6年 P. 27, 33~38  5・6年裏表紙 5・6年 P. 17
11 学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リスニングにおいて、内容を聞きとるだけでなく、その内容が「自分にもあてはまると思うとき」は繰り返して発音することで、その後の言語活動につながるよう工夫されている。</li> <li>○ 各単元に音楽科や社会科等で学習した内容や「世界のお米」「夏は何月？」等、日本との共通点や違いに目を向ける内容が示され、海外の文化や他教科との関連が図られている。</li> <li>○ ページ番号の横に「Sounds &amp; Letters」を設け、アルファベットとそれに関連した単語が絵とつづりで記載されており、補充的にアルファベットの音と文字のつながりを確認できるようになっている。</li> </ul>	5年 <u>1</u> P. 25 6年 <u>2</u> P. 46  5年 <u>1</u> P. 27, 63 6年 <u>2</u> P. 64  5年 <u>1</u> P. 85 6年 <u>2</u> P. 87
15 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「JUMP」では、準備から自己表現までの活動の流れを絵や写真で分かりやすく説明しており、児童が見通しをもって言語活動に取り組めるようになっていたり、他の児童と情報交換する場を設け発表内容を改善できるよう工夫されたりしている。</li> <li>○ 「Enjoy Reading」では第5学年から継続的に、一定量のとまりのある英文に触れることで読むことに慣れ親しみ、中学校の学習へのスムーズな接続が図られている。</li> <li>○ 巻頭の「教室で使う英語」「会話を続けるくふう」では、コミュニケーションをする上で役立つ表現が場面ごとにまとめられており、学習を効果的に進められるようになっている。</li> </ul>	5年 P. 36~38 6年 P. 74~76  5年 P. 55 6年 P. 47  5年 P. 12~14 6年 P. 12~14

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書見開き2ページにおける活動数を少なく設定しているため、紙面が見やすく、活動を繰り返すことにより基礎基本の定着が図られるようになっている。</li> <li>○ 「Read and Act」では、道徳科や国語科で学習した内容を題材とした読み物が取り上げられているため、意味を推測しながら英語を聞くことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻末に付属されているシールを使ってピザをつくったり、小学校で学んだことの集大成として「好きなこと」や「できること」を1文ずつ書いて「My Book」を作成したりする活動を設け、児童が意欲をもって取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>5年 P. 26, 27 6年 P. 24, 25</p> <p>5年 P. 90 6年 P. 42, 82～85</p> <p>5年 P. 84, 巻末 6年 P. 101, 巻末</p>
38 光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の構成が「映像を見る」「聞きとり」「リズム練習」「ゲーム」「英語でやりとり」「書く」という流れで統一されており、短時間の活動をテンポよく行うことで、児童に十分なインプット・アウトプットを行うことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「世界の友達」のページでは、QRコードを利用して世界12ヶ国の小学生のメッセージを映像で見ることができ、異文化への理解を深め、英語に様々な音があることに気付くことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 遊びや歌、シール貼り等の活動が取り入れられたり、ページ下部に一言フレーズ、発話のワンポイント等が掲載されたりしており、楽しみながら意欲的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>	<p>5年 P. 22, 23 6年 P. 20, 21</p> <p>5年 P. 50, 51 6年 P. 48, 49</p> <p>5年 P. 76～78 6年 P. 54～56</p>
61 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Part」ごとに「めあて」が明記されており、スモールステップで学習を進められるよう工夫されていたり、単元末の振り返りで「どんな場面で使いたいか」を書く欄を設け、自主的な学習との関わりが図られたりしている。</li> <li>○ 算数科と関連したグラフから必要な情報を読み取る活動等、「REVIEW」の「CHALLENGE」では、他教科との関連が図られている。</li> <li>○ 巻末の「Word List」は、自分の表現したいことを調べやすいよう単語が分類されていたり、各単元の活動で使用できるよう絵カードが豊富に準備されていたりしており、児童にとって使いやすくなっている。</li> </ul>	<p>5年 P. 28, 46 6年 P. 28, 55</p> <p>6年 P. 73, 95</p> <p>5年 P. 100～136 6年 P. 100～136</p>

岡山市教科用図書選定資料 教科（特別の教科 道徳） 種目（道徳）

【岡山市の子どもの課題】

- ① 道徳的価値についての理解を基に、自分自身の問題として主体的に考え、自分の考えを表現することに課題がある。
- ② 実際の場面において、自分で判断し道徳的行為に結び付けたり、自分から他の人に関わろうとしたりすることに課題がある。

	特 徴 及 び 意 見	該当するページ
2 東 書	○ 問題解決的な学習に対応した教材「問題を見つけて考える」では、考えるポイントや考えるステップが示され、児童が自ら考え、判断できるようになっている。	4年 P. 103～106 5年 P. 25～29
	○ 「つながる・広がる」や「出会う・ふれ合う」では、他教科との関連を示すページや教材での気づきを実生活に活用できる助けとなる内容が位置付けられている。	3年 P. 140 4年 P. 121, 122
	○ 「Dマーク」が設定され、インターネットを活用した学習ができるようになっている。また「家の人といっしょに考えよう」では、児童の発達段階に応じて、情報モラルについて家庭と連携することができるようになっている。	各学年目次 4年 P. 152～154 5年 P. 164～166
11 学 図	○ 「まなび」には、授業の導入で児童が道徳的価値に関わって自分自身のことを振り返ることができる発問が示されており、児童が道徳的価値について考えを広げたり深めたりしやすいよう配慮されている。	まなび 2年 P. 14 5年 P. 28
	○ 「まなび」の巻末にある「まなびのヒント」に役割演技や話し合いの仕方等が示されており、道徳的行為に関する体験的な学習や自分の考えを表現する機会の充実が図られている。	まなび 1年 P. 44～47 5年 P. 50, 51
	○ 「まなび」は、同じ内容項目の教材に関する考えを書くページが見開きとなっており、児童が内容項目に対する自分の考えの変容について捉えやすくなっている。	まなび 3年 P. 17 6年 P. 15
17 教 出	○ 導入時の問いかけや「考えよう」の発問、また、学習する道徳的価値や教材内容について関心を高めるページが教材の前に設けられており、児童自身が道徳的課題に気づき、考えをもち、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。	1年 P. 24～27 3年 P. 106～109
	○ 「やってみよう」では、道徳的価値に関するスキルトレーニングを行ったり、教材の一場面を演じたりと、体験的に学習することができるようになっている。	2年 P. 62～65 4年 P. 70～75
	○ 現在国内外で活躍する人や、日本社会の発展に貢献した先人たちが多数紹介されており、日本の歴史を知り我が国のよさを実感できるようになっている。	4年 P. 92～97 6年 P. 132～135
38 光 村	○ 各教材の初めには吹き出しで授業の導入のヒントが、「考えよう・話し合おう」ではめあてや問いが整理されており、授業で何を学ぶのかが分かりやすく、道徳的価値について理解しやすくなっている。	1年 P. 18～23 5年 P. 102～107
	○ 「心を通わそう」や巻末の「〇〇のこつ」では、言葉の伝え方や受け止め方等を体験し、実生活へと生かすことができるようになっている。	4年 P. 34, 35 6年 P. 216, 217
	○ 「夏休みの前に」「冬休みの前に」のコーナーが設けられていたり、「つなげよう」で教材と関わりがある人物が紹介されていたりする等、自主的な学習との関連が図られている。	2年 P. 63 6年 P. 27

116 日 文	<p>○ 教材の導入部分で、道徳的価値に関わる問題意識をもたせる問いかけや、あらすじが、最後の「考えてみよう」では、ねらいに迫る発問例が示されており、児童が自分との関わりで道徳的価値についての考えを深めやすいよう工夫されている。</p> <p>○ 「学習の手引き」では、問題解決的な学習や体験的な学習について具体的に示され、児童が多面的・多角的に考え、表現できるようになっている。</p> <p>○ 道徳ノートの下段が自由記述欄になっており、児童の実態に応じた発問を書いたり、心情をマークや色で表現したりするなど、授業展開によって様々な活用ができるよう配慮されている。</p>	<p>2年 P. 122～125 6年 P. 80～85</p> <p>3年 P. 64, 65 5年 P. 92, 93</p> <p>ノート 4年 P. 18, 19 5年 P. 17～19</p>
208 光 文	<p>○ 各教材で、始めに教材を通して考えたいことが、下段に道徳的価値について多様に考える問いが、さらに最後には考えたことをまとめるための発問や活動が示され、道徳的価値について考えを深めることができるよう工夫されている。</p> <p>○ 巻頭のオリエンテーションに道徳の学習の意義や学習の進め方、この本の使い方、道徳科と日頃の生活をつなぐ視点等が示されており、児童の道徳科の学びへの意欲が喚起される工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に「学びのあしあと」があり、分かったことや考えたことを記入し、振り返ることができるようになっている。また、各学年 40 本の教材があり、児童の実態に合わせて教材を選択できるよう配慮されている。</p>	<p>1年 P. 56～59 5年 P. 30～33</p> <p>各学年 P. 2～9</p> <p>各学年巻末</p>
224 学 研	<p>○ 各教材の最後の「考えよう」に、道徳的価値の理解を深められるように発問例が示され、児童が道徳的価値についての考えを深められるようになっている。</p> <p>○ 教材の後ろには「やってみよう・つなげよう・広げよう・深めよう」といったページが示されており、多様に学びを展開したり、学んだことを実生活につないだりできるよう工夫されている。</p> <p>○ 命に関する内容について重点的に学べるよう、内容項目の異なる教材を組み合わせで配列し、広い視野に立って学習することができるように工夫されている。また、「My Profile」で自分自身を見つめるきっかけになるよう配慮されている。</p>	<p>2年 P. 52～55 5年 P. 80～83</p> <p>2年 P. 47 5年 P. 40, 41</p> <p>4年 P. 123～131 6年 P. 6, 7</p>
232 廣 あ か つ き	<p>○ 各教材に「学習の道すじ」として、「めあて」と「めあて」を踏まえたとなせさせたい道徳的価値に向かう発問が示されており、児童が道徳的価値に焦点化して考えることができるよう配慮されている。</p> <p>○ 「考えよう 話し合おう」で発問を示したり、「道徳ノート」にとらえた道徳的価値をもとに自分の生活とつなげて考えを記述する欄を設けたりすることで、実生活の場面への活用につながるよう配慮されている。</p> <p>○ 「学習を広げる」のコーナーを設け、教材の登場人物、関係図書、歴史上の人物の言葉等を紹介し、補充的な学習や家庭での自主的な学習に取り組めるよう配慮されている。</p>	<p>3年以上</p> <p>2年 P. 84～87 道徳ノート 1年 P. 7</p> <p>3年 P. 109 4年 P. 42 6年 P. 15</p>